



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校
発行日 令和2年9月1日
発行者 校長 芝田 智昭

No. 352 9月号

これまでどうだったか、今どうなっているか、これからどうするか

2学期が始まって1週間が過ぎました。夏休み明けは、心理的に落ち着かなかったり、前向きな気持ちになれなかつたりする子がいるので心配しますが、ご家庭での見守りのおかげで、不安な様子を浮かべる子は今のところいません。今後も子どもたちの状況を的確に見取り、指導の充実を図ってまいります。

さて、表題は1学期の終業式と2学期の始業式で子どもたちに伝えた言葉です。思考法の一つで、物事を時系列に位置付けて考える際の視点と言えます。それまでに経験していないことや先の見通しが立たない状況に直面したとき、冷静な見立てができず感覚や前例に頼ってしまうことがあります。結果、良い方向に進まず後悔が残る場合も少なくありません。こうした苦い経験を踏まえて、何かを考える時は時系列に置き、俯瞰して全体を把握してから判断するようにしています。

一方、子どもたちは日々新しい刺激に接し、大人よりもはるかに速いスピードで成長しています。そんな子どもたちですから、自らを時系列に置いて立ち止まったり振り返ったりすることが少ないのは当然です。だからこそ終業式と始業式、いわゆる“区切りの日”に「これまでどうだったか、今どうなっているか、これからどうするか」を投げかけました。過去を思い出し検証し、現在を見つめ適切に評価し、未来を見通し進むべき方向性を見極める力を身に付けることは必要です。

特に、「これからどうするか」が重要です。過去（これまでどうだったか）と現在（今どうなっているか）は分析的な表現になっていますが、未来は自身の意思を表す表現になっています。特別な対応が続く時期だからこそ、目指すべきところや目標とするものを具体的にもつことが大切なのではないでしょうか。

2学期の開始にあたり、子どもたちは目標や抱負、がんばりたいことを心に決めていると思います。ご家庭で話題にして、励まし支えていただけると幸いです。

【2学期の保護者参観等について】

現在の感染状況を踏まえた教育委員会からの指示を受け、以下のとおり対応します。

- 1 当面の間、土曜授業の保護者参観は行わない。12日（土）に予定している引渡し訓練は、実際の引渡しをしない形での訓練に変更する。
- 2 12日（土）の新1年生向け学校説明会は実施する。10時20分から11時まで、ランチルームにて行う。学校ホームページでも周知を図る。
- 3 運動会の保護者参観は、1家庭あたり原則2名までとする。来賓は招待しない。

以上です。11月以降に予定されている道徳授業地区公開講座、展覧会、マラソン大会等については、方向性が固まり次第改めてお知らせします。